

川岸児童遊園地に関する検討経緯

H19.2 協議会で「川岸地区防災まちづくり推進計画」を作成し、災害に強い公園づくりの一環として、今ある公園を改善が重要であることを提案



- 【計画したこと】**
- 災害に強い公園をつくろう
 - 今ある公園の改善計画を提案しよう
 - 計画づくりは住民主体で進めよう

H23年度 地区に広く呼びかけて、「川岸児童遊園地改善計画づくりワークショップ（全4回）」を開催し、「川岸児童遊園地改善計画（ワークショップ案）」がまとまる地域住民による防災施設の維持管理をどのように行うかが検討課題に



ワークショップの様子

- 【確認したこと】**
- 川岸児童遊園地を川岸地区全体の防災資源として、皆で活用することの重要性を再確認
 - 防災設備（かまどベンチ、マンホールトイレ、防災水利施設）の整備が有効
 - 防災施設の整備実現のためには、地域住民による防災施設の維持管理が不可欠である

H24.6 第55回総務会・第84回協議会において、防災施設の維持管理は川岸町会と協力して取り組みたいこと、そのために、川岸町会との話し合いの場を設けたいことを確認

- 【確認したこと】**
- 協議会だけでは、防災施設の維持管理は難しい
 - 川岸町会と協力して、維持管理体制づくりを考えるための話し合いの場を設けたい。
 - 話し合いの場では、まずは、推進協議会の活動経緯や改善計画（ワークショップ案）の内容を丁寧に説明し、今回の話し合いの目的について共通認識を持つことが大切。

H24.7 七夕まつりへ参加し、川岸町会、他団体等と協力することで、効果的な活動ができることをあらためて再確認



商盛会主催の七夕まつりへ参加し、川岸町会の協力のもと、防災まちづくりの紹介や防災に対する意識共有を地区全体に向けて呼びかけた。

- 【確認したこと】**
- 防災施設を備えた新しい川岸児童遊園地ができる機会を、川岸町会、他団体、推進協議会のこれからの協力体制を考える機会にしたい！

H24.8 防災まちづくりイベントで川岸児童遊園地改善計画（ワークショップ案）に関するミニアンケートを実施し、防災機能を備えた公園への改善について、多くの方に前向きな評価をいただく



- 【確認したこと】**
- 川岸児童遊園地に必要な防災機能を備えた公園とすることについて、大変良いことと思うというご意見をいただく

H24.7~9 第56~57回総務会・第85~86回協議会において、川岸町会との話し合いの場である「川岸児童遊園地の防災活用を考える懇談会」で何を話し合うかを検討



話し合いの成果（黒板で整理）

- 【確認したこと】**
- 協議会として「せっかく新しい公園ができるから、同じ川岸地区に住むみんなで有効に活用していきましょう！」というメッセージを伝える説明内容とする
 - 川岸町会と継続的に維持管理体制づくりを話し合っていくことについて理解をいただきたいこと

H24.10.6 第1回「川岸児童遊園地の防災活用を考える懇談会」

(川岸町会と協議会の話し合い)



当日の様子



話し合いの成果（黒板で整理）

【確認したこと】

- 川岸児童遊園地の災害後の避難生活を支える機能をつくるため防災施設の整備が役立つ
- かまどベンチ、マンホールトイレ等は、被災後の炊き出しやトイレなどの避難生活にも有効に使える。防災施設がある公園がないので必ず役立つ
- 維持管理の体制づくりの検討を、町会と協議会の協力関係づくりの第一歩とする
- 第2回懇談会で、協議会から川岸町会に防災施設の維持管理の具体提案をすることに

【確認したこと】

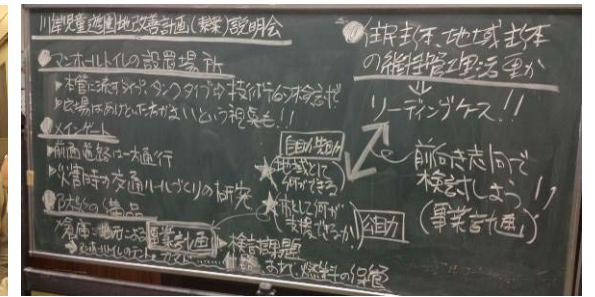
- 協議会と川岸町会が協力して、防災施設の維持管理を行う
- 今年度3月を目標に、懇談会でまとめた「防災施設の維持管理方針」も含めた「川岸児童遊園地改善計画案」を市長提言する
- 市長提言の前に、地域住民に広く川岸児童遊園地改善計画を知ってもらうために、川岸町会と協議会が共催の改善計画（素案）説明会を実施する
- 維持管理の体制は、一定の時間をかけて考える必要があるため、来年度も、協議会と川岸町会の代表者による維持管理体制を具体化する会議を継続する

H25.2.16 「川岸児童遊園地改善計画（素案）説明会」開催！

(共催：協議会・川岸町会)



当日の様子



話し合いの成果（黒板で整理）

【確認したこと】

- 来年度、こんな検討も必要！（公園や防災施設を、地域で最大限活用するために・・・）
 - マンホール化の整備数や位置（市による下排水計画等の技術的検討を踏まえて）
 - 緊急車両が公園にアクセスしやすい交通ルール（一方通行対応、路上駐車防止策等）
 - 防災倉庫の整備の必要性（例：防災施設の備品：マンホール化のテント、カマド、什器、炊き出し用燃料等）
 - 以上のほか、住民主体の維持管理活動に必要な整備項目を検討して、事業計画をまとめる。
- 今回の住民主体の維持管理活動の提案は、戸田市初の先進的取り組み。活動の具体化にむけたこれからの検討は、その気概を持ち地域一丸となって「前向き志向」で、取り組もう！
- 「個人として何ができるか（自助）」、「地域として何ができるか（共助）」「戸田市とどのように協力できるか（公助）」・・・自助・共助・公助の連携で進めていこう！

H24.11.1 第87回協議会で、川岸町会への提案内容として、「防災施設の維持管理方針」をまとめる



話し合いの成果（黒板で整理）

【確認したこと】

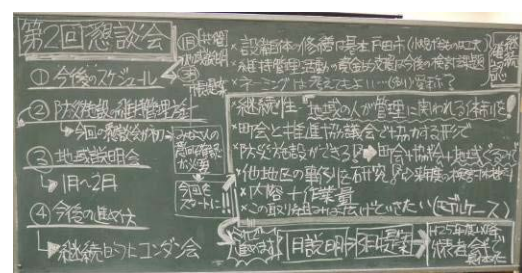
- 維持管理の体制は「無理なく」「継続できて」「地域にあった」ものにすることが重要

H24.11.17 第2回「川岸児童遊園地の防災活用を考える懇談会」

(川岸町会と協議会の話し合い)



当日の様子



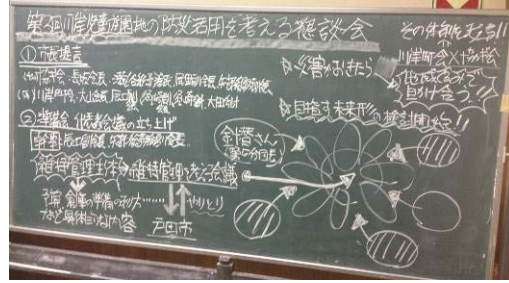
話し合いの成果（黒板で整理）

H25.3.9 第3回「川岸児童遊園地の防災活用を考える懇談会」

(川岸町会と協議会の話し合い)



当日の様子



話し合いの成果（黒板で整理）

【確認したこと】

- 素案説明会で賛同を得たため、素案修正は行わず、現在の内容を川岸児童遊園地改善計画案として完成とし、市長へ提言する
- 市長提言には、川岸町会から5名、協議会から4名が代表して参加する
- 会議の具体的な進め方を考える代表者会議の「準備会」をまずは立ち上げる
- 川岸町会・辰口副会長と協議会・矢部総務会副会長を、準備会の立ち上げに向けての準備や各種調整を行う「幹事」とする
- 幹事は準備会・代表者会議の立ち上げに向けて、具体的な企画と参加団体への働きかけ役・調整役を担う。
- 準備会では、どんな団体がどんな活動をしているかを整理し、準備会からも、町会内の部、地域団体に参加を働きかける。
- 防災施設の維持管理、新しい川岸児童遊園地の地域ぐるみの活用の体制については、「維持管理体制の未来形」の実現を目指す！

H25.3.19 川岸町会と協議会から「川岸児童遊園地改善計画案」を市長へ提言



H25年度～ 川岸町会と協議会による協議継続！（川岸児童遊園地の維持管理の体制と内容を具体化へ）

「維持管理体制の未来形」を目指します

- 色々な得意分野を持った団体・住民が集まり、川岸児童遊園地の効果的な維持管理や活用アイデアを話し合う場になる。
- 人間関係の輪が広がり、地域ぐるみで防災施設の維持管理、防災訓練・イベントを行う体制が強化され、川岸児童遊園地に関わる人がどんどん増える。

<イメージ例>

